

A 募集の趣旨・目的及び背景、案の概要・論点等

1. 案を作成した趣旨、目的及び背景

本市の財政状況は、少子高齢化や人口減少の進行、長期化する新型コロナウイルス感染症に加え、ウクライナ情勢、原油価格・物価高騰などにより、先行きが不透明な状況にあります。

また、歳入の根幹をなす市税は減少傾向、歳出面では社会保障関係費の増大や新庁舎整備事業などに伴う投資的経費の増加、公債費の高止まりなど、依然として厳しい財政状況が続くことが想定されます。

そうした中において、本市のまちづくりの展望を切り開き、第七次鳴門市総合計画に掲げる将来都市像を実現していくため、また行財政改革への取組をより一層強力に推進するため、「鳴門市行財政改革計画～シン・スーパー改革プラン～」の策定を進めています。

つきましては、素案段階での計画を公表し、市民の皆さんのご意見を募集します。提出いただいたご意見を参考に令和5年3月までに成案をまとめる予定です。

2. 案の概要

1. 計画期間：令和5（2023）年度から令和8（2026）年度

2. 基本理念

自立的で持続可能な行財政システムの確立

3. 基本目標

- (1) 歳入の確保に向けた取組
- (2) 歳出の削減に向けた取組
- (3) 特別会計及び公営企業会計の健全化
- (4) 効率的かつ効果的な行政運営機能の構築
- (5) 新庁舎建設を契機とした行政改革の推進

3. 案を作成する際に整理した論点及び鳴門市の考え方

本計画は、これまでの「財政健全化の推進」に向けた取組に加えて、「未来投資型の施策の推進」という新たな取組に対して推進することとしています。

(1) 収支不足を補う具体的取組の推進

従前の取組だけでは収支不足を補うことは困難な状況となっており、収支不足を解消するために新たな取組項目を推進します。

(2) デジタル技術の活用や新庁舎建設を契機とした未来投資型の施策の推進

デジタル技術等を活用した業務プロセスの再構築や、新庁舎建設を契機として、窓口サービスの向上など市民の利便性向上につながる「新たな価値」を創出する施策を推進します。